

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
第1	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	100	B	125	C	27	D	1	II	
		A	47	B	79	C	20	D	1		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施したものの、一部の項目については具体的な取組みに至らなかった。									
		A	53	B	46	C	7	D	0		
1	教育に関する目標を達成するための措置	A	71	B	88	C	16	D	0	II	
		A	33	B	51	C	12	D	0		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
		A	38	B	37	C	4	D	0		
(1)	教育の成果に関する目標を達成するための措置	A	9	B	7	C	2	D	0	I	(会津大学) 平成21年度より、学部・博士前期課程5年一貫教育プログラムを導入し、学部学生の大学院開講科目の受講を促進する取り組みや、英語での卒業論文の執筆・発表及び英語試験におけるTOEIC試験の導入など、学外や学生の能力向上を意識した体系的な英語教育の充実を図ったことについて評価できる。 (会津大学短期大学部) 学外実習の積極的な導入による学生の課題解決に向けた能力向上を図る取り組みについて評価できる。
		A	5	B	7	C	2	D	0		
		(会津大学) 課外プロジェクトなど学生の意欲や自主性を尊重する科目の円滑な運用及び学部・博士前期課程5年一貫教育プログラムの導入などについて、概ね計画どおり実施した。									
		A	4	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) ガイダンス時の履修指導や、教養基礎科目、専門教育科目、卒業研究等を中心とした課題発見・解決型教育の充実などについて、計画を上回る実績をあげた。									

評価項目			公立大学法人自己評価						評価委員会評価	
			計画達成の状況						項目別評価	評価における特記事項
(2)	教育内容等に関する目標を達成するための措置	A	37	B	34	C	10	D	0	II (会津大学) アンケート等をもとに策定した「学生募集広報計画」に基づき、進学相談会への参加回数の増や、新たに入試直前相談会の開催を試みるなど、学生志願者の増や優れた学生の確保に積極的に取り組んだことについて評価できる。 (会津大学短期大学部) 資格取得希望者に対する指導等に努めた結果、中期計画の数値目標について、食物栄養学科の栄養士免許資格及び社会福祉学科の保育士資格では数値目標を達成したことについて評価できる。 社会福祉学科の社会福祉士受験資格については、その向上が求められる。 栄養士免許資格 実績100.0%(目標100%) 保育士資格 実績100.0%(目標100%) 社会福祉士受験資格 実績95.8%(目標100%)
		A	17	B	24	C	8	D	0	
		(会津大学) より効果的な学生募集広報計画による進学相談会の参加回数及び入試直前相談会の開催や、推薦入試Bの定員の拡大、(仮称)会津大学修学支援宿泊施設整備の基本設計及び実施設計の策定、語学研究センター中心の必要な英語教育などについて、概ね計画どおり実施した。								
		A	20	B	10	C	2	D	0	
(3)	教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	A	13	B	15	C	2	D	0	II (会津大学) FD (faculty development: 教員能力開発) 推進委員会において授業評価の方法を見直し、学生が回答しやすい評価項目への変更や、評価結果の公表など、より透明性の高い評価を行ったことについて評価できる。 (会津大学短期大学部) 学生による授業評価(アンケート)を授業改善に反映させる取り組みや、FDに対する職員の意識改革を進めたことについて評価できる。
		A	4	B	8	C	0	D	0	
		(会津大学) FD推進委員会の設置によるシラバスの改善、授業評価の全面的見直しや、基幹的な計算機システムの更新、遠隔講義のシステムの導入などについて、概ね計画どおり実施した。								
		A	9	B	7	C	2	D	0	
		(会津大学短期大学部) 地域に関する教育内容の全学的な充実、コンピュータシステムによる学生への効率的な連絡と教職員間の円滑な情報共有、また、「学生による授業評価」等の授業改善への活用等について、概ね計画どおり実施した。								

評価項目			公立大学法人自己評価							評価委員会評価	
			計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項
(4)	学生への支援に関する目標を達成するための措置	A	12	B	32	C	2	D	0	II	<p>(会津大学) 修学支援室において、修学支援TA(teaching assistant)のほか、平成21年度からは修学支援SA(student assistant)も配置して、修学に不安や悩みを抱える学生への支援の充実を図ったことについて評価できる。</p> <p>(会津大学短期大学部) オフィスアワーのほか、オフィスアワー外でも学生の指導・相談に対応し、指導相談件数が前年度比550件増となるなど、学生への支援に配慮したことについて評価できる。</p> <p>(共通) 四大、短大ともに就職活動に対する各種支援を行い、中期目標の数値目標(就職希望者の就職率)について、短大では数値目標を達成したことについて評価できる。 四大(学部)及び四大(大学院)では、目標に及ばなかった。 四大(学部) :実績 92.5%(目標100%) 四大(大学院):実績100.0%(目標100%) 短大 :実績 95.9%(目標 95%)</p>
		A	7	B	12	C	2	D	0		
		(会津大学) 少人数のクラス編成及び修学支援室の支援体制や、(仮称)会津大学修学支援宿泊施設整備の基本設計及び実施設計の策定、TA、RA制度の充実、進路ガイダンス及び就職支援などについて、概ね計画どおり実施した。									
		A	5	B	20	C	0	D	0		
2	研究に関する目標を達成するための措置	A	12	B	26	C	7	D	1	II	
		A	6	B	19	C	5	D	1		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施したものの、一部の項目については具体的な取組みに至らなかった。									
		A	6	B	7	C	2	D	0		
		(会津大学短期大学部) 概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
(1)	研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置	A	8	B	11	C	0	D	0	II	<p>(会津大学)</p> <p>平成21年4月に開所した「先端情報科学研究センター(CAIST)」の宇宙情報科学クラスターでは、SELENEマルチバンドイメージやデータに基づく月表面の鉱物組成を解明する研究を進めているが、平成21年9月には共著論文が、英国科学雑誌「Nature」(2009年9月10日発行)に掲載されたことについて評価できる。</p> <p>なお、今後とも、知的財産の活用や外部資金の獲得への取り組みに努力を期待する。</p> <p>主要学術論文採択数は、前年度比31件増の152件(平成22年6月23日現在)であり、今後とも中期計画の170件に向けて成果を期待したい。</p> <p>(会津大学短期大学部)</p> <p>大学評価・学位授与機構による認証評価に向けた積極的な取り組みについて評価できる。</p>
		A	4	B	8	C	0	D	0		
		(会津大学)									
		月周回衛星(SELENE)データに基づく研究論文の掲載、国際会議への支援及び公開講座、産学連携フォーラム等の開催による研究成果の社会への還元などについて、概ね計画どおり実施した。									
(2)	研究実施体制等の整備に関する目標を達成するための措置	A	4	B	15	C	7	D	1	II	<p>(会津大学)</p> <p>重点的に推進すべき特定プロジェクトについて横断的に取り組むための研究組織として、平成21年4月より先端情報科学研究センター(CAIST)を設置した。同センターの宇宙情報クラスターでは、英国科学雑誌「Nature」の共著論文が掲載されたほか、同センターの医学・医療クラスターでは、産学官連携会津地域活性化事業(県事業)で福島県立医科大学との連携事業に結びつくなど、成果が表れており、評価できる。</p>
		A	2	B	11	C	5	D	1		
		(会津大学)									
		先端情報科学研究センターを設置し、センター内に目標を明確にした研究を行うクラスターを開設することについては、計画どおり実施したものの、大学としての研究成果の評価を行うためのデータ収集については、具体的な取組みに至らなかった。									
		A	2	B	4	C	2	D	0		
		(会津大学短期大学部)									
		研究者データベースの充実、地域社会のニーズと本学シーズのマッチングの展開、地域の産学民官が連携した共同研究・受託研究の実現などについては、概ね計画どおり実施した。									

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
3	地域貢献に関する目標を達成するための措置	A	12	B	11	C	4	D	0	II	
		A	4	B	9	C	3	D	0		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
		A	8	B	2	C	1	D	0		
(1)	教育研究における地域社会や県政との連携・協力に関する具体的方策	A	9	B	7	C	3	D	0	II	(会津大学) 様々な団体等との連携・協力により、教育研究の推進が行われていることについて評価できる。 ○県教育委員会 ・会津若松市内の小学校への理科教育支援 ・理数教育プログラムを開発する「天地人プロジェクト～いざ科学のフィールドへ～」(独立行政法人科学技術振興機構採択) ○企業・団体(地域活性化・IT人材の育成) ・会津ITサマーフォーラム ・コンピュータサイエンスサマーキャンプ ・パソコン甲子園など ○福島県立医科大学 ・会津大学の情報科学と医療技術の連携 (会津大学短期大学部) 地域活性化センター事業として「会津の宝」活用事業地域情報発信事業などが産学民官協働・連携で実施され、同事業は、学生の参画型実学実践教育の場としても活用されていることについて評価できる。 また、地域のデザインコンペティションなどへ学生が積極的に参加し、賞を獲得するなど、地域活性化にも貢献していることについて評価できる。
		A	3	B	6	C	2	D	0		
		(会津大学) コンピュータサイエンスサマーキャンプ、パソコン甲子園の実施、公開講座等の開催などについて、概ね計画どおり実施した。									
		A	6	B	1	C	1	D	0		
		(会津大学短期大学部) 地域活性化センターにおける公開講座・派遣講座、学生参画型実践教育、様々な受託事業の実施などについて、概ね計画どおり実施した。									

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
(2)	地域産業の振興に関する具体的方策	A	3	B	1	C	1	D	0	I	(会津大学) 「会津ITサマーフォーラム2009」を開催し、県内外のIT企業、技術者、研究者をはじめ、地域住民や学生など約370名が参加するとともに、その分科会において、最先端のIT情報の発信、農業現場のIT活用、会津大学発ベンチャー企業によるIT事業の紹介、先端科学情報研究センターの取り組みなどを紹介するなど、会津地域より全国へ情報を発信したことについて評価できる。 (備考)平成21年度末時点で会津大学発ベンチャー企業の数は25社。 ※平成20年度末時点で会津大学発ベンチャー企業の数は25社で、全国の公立大学で1位(経済産業省調査)。
		A	1	B	1	C	1	D	0		
(会津大学) 会津ITサマーフォーラムの実施や産学官連携への本学外国人教員の知識の活用については計画どおり実施したものの、サテライトオフィス設置のための情報収集については、実施が不十分であった。											
A	2	B	0	C	0	D	0				
(3)	地域貢献の評価に関する具体的方策	(会津大学短期大学部) 地域活性化センター運営推進会議(産官民学の42団体に委嘱)の開催による、地域課題の共有化、地域連携の推進等についての協議の実施、受託事業等の実施などについて、計画を上回る実績をあげた。									
		A	0	B	3	C	0	D	0	II	
		A	0	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学) 地域貢献となる事業項目の評価などについて、概ね計画通り実施した。									
A	0	B	1	C	0	D	0				
(会津大学短期大学部) 地域活性化センターを中心とした地域貢献の事業項目にかかる評価について、概ね計画どおり実施した。											

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
4	国際交流に関する目標を達成するための措置	A	5	B	0	C	0	D	0	I	
		A	4	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学) 計画を上回る実績をあげた。									
		A	1	B	0	C	0	D	0		
(1)	国際交流の推進に関する具体的方策	A	5	B	0	C	0	D	0	I	(会津大学) 国際戦略本部において海外の大学との国際交流協定締結を進め、中期計画の数値目標(締結校15校)に対し、平成21年度末で既に47校との締結を行い、大きく数値目標を上回っている。 また、平成21年度にシステム知能学に関する国際学会をはじめとして5つの国際会議を開催したほか、グローバルシチズン・シンポジウムへの支援を行った。 こうした取り組みについて評価できる。
		A	4	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学) 国際交流協定の締結、締結校との具体的交流などについて、計画を上回る実績をあげた。									
		(会津大学短期大学部) 国際的な交流会への学生の参加について、計画を上回る実績をあげた。									

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
第2	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	10	B	27	C	2	D	0	II	
		A	6	B	23	C	1	D	0		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
		A	6	B	14	C	1	D	0		
1	運営体制の改善に関する目標を達成するための措置	(会津大学短期大学部) 概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。								II	
		A	1	B	7	C	0	D	0		
(1)	効果的な組織運営に関する具体的方策	A	1	B	3	C	0	D	0	II	(会津大学) 研究費の計画的かつ効率的な執行を図るため、年度末残高相当額を翌年度の配分額に加算する実質的な繰越制度を創設したほか、授業科目の必要経費について、各担当教員の研究費に上乗せして配分するなど、効率的な予算執行に努めたことについて評価できる。
		柔軟で機動的な法人運営を実現するため、役員会、経営審議会、教育研究審議会を適切に運営するなど、概ね計画どおり実施した。									
(2)	戦略的な学内資源配分の実現等に関する具体的方策	A	0	B	4	C	0	D	0	II	
		事務局等組織の再編と係制の導入や各種委員会の運営及び学外委員の登用などについて、概ね計画どおり実施した。 (短大はA:0、B:3、C:0、D:0である)									

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
2	教育研究組織の見直しに関する目標を達成するための措置	A	2	B	1	C	0	D	0	I	
		A	1	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学) 計画を上回る実績をあげた。									
		A	1	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 計画を上回る実績をあげた。									
(1)	教育研究組織の柔軟かつ機動的な編成・見直し等に関する具体的方策	A	2	B	1	C	0	D	0	I	当評価委員会の評価結果等を踏まえ、平成21年度から、事務局を3課1室から2課1室に再編して各業務の集約化を図り、総務予算課、企画連携課を設置するとともに、事務局各課・室に係制を導入するなど、効率的な執行体制の確保に努め、事務の効率化・合理化を推進したことについて評価できる。
		A	1	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学) 組織の見直しなどについて、計画を上回る実績をあげた。									
		A	1	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 組織の見直しなどについて、計画を上回る実績をあげた。									

評価項目			公立大学法人自己評価							評価委員会評価			
			計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項		
3	人事の適正化に関する目標を達成するための措置	A	5	B	11	C	2	D	0	II			
		A	2	B	7	C	1	D	0				
		(会津大学) 概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。											
		A	3	B	4	C	1	D	0				
(1)	人材の確保に関する具体的方策	A	3	B	7	C	1	D	0	II	(会津大学) 産学イノベーションセンターの専任教員については3年の任期制にしたり、学内教員と高度な専門分野で共同研究ができる者については客員研究員として招聘するといった、教員の多様な任用制を行ったことについて評価できる。		
		A	2	B	4	C	0	D	0				
		(会津大学) 公募制による教員の採用、多様な任用制の活用・運用などについて、概ね計画どおり実施した。											
		A	1	B	3	C	1	D	0				
(会津大学短期大学部) 公募制を原則とした教員選考の実施、優秀な女性教員の採用などについて、概ね計画どおり実施した。													

評価項目			公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
			計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
	(2)	非公務員型を生かした柔軟かつ多様な人事システムの構築に関する具体的方策	A	2	B	4	C	1	D	0	II	
			A	0	B	3	C	1	D	0		
			(会津大学) 学内昇任基準の適正な運用などについて、概ね計画どおり実施した。									
			A	2	B	1	C	0	D	0		
			(会津大学短期大学部) 教育・研究上の業績、学内運営や社会への貢献度などを総合的に勘案する学内昇任基準の施行、職員研修の充実などについて、計画を上回る実績を上げた。									
4		事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置	A	2	B	8	C	0	D	0	II	
			概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
	(1)	事務組織の機能・編成の見直しに関する具体的方策	A	2	B	1	C	0	D	0	I	(会津大学) 専門的知識、能力を有する大学法人職員の採用については、段階的、計画的な採用を行うため、職員採用試験を実施し、4名を採用した(平成21年4月:4名)ことについて評価できる。
			法人職員の段階的、計画的な採用、研修受講による能力の向上などについて、計画を上回る実績をあげた。									
	(2)	事務処理の効率化・合理化に関する具体的方策	A	0	B	7	C	0	D	0	II	
			学生へのサービス向上及び事務組織の検討などについて、概ね計画どおり実施した。 (短大はA:0、B:3、C:0、D:0である)									

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
第3	財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	3	B	12	C	2	D	0	II	
		概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
1	外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	A	1	B	7	C	2	D	0	II	(会津大学) 施設使用料については、大学ホームページによる利用制度の周知等を行い、昨年度より増加したことについて評価できる。
		大学施設の利用による収入増などについて、概ね計画どおり実施した。 (短大はA:1、B:4、C:2、D:0である)									
2	経費の節減に関する目標を達成するための措置	A	0	B	3	C	0	D	0	II	
		組織見直し及び環境方針の周知・推進、会議開催等の効率化・合理化について、概ね計画どおり実施した。 (短大はA:0、B:2、C:0、D:0である)									
3	資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置	A	2	B	2	C	0	D	0	II	
		施設の利用増加、計画的・効率的な維持管理について、計画を上回る実績をあげた。 (短大はA:0、B:1、C:0、D:0である)									

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
第4	教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	3	B	13	C	2	D	0	II	
		A	1	B	8	C	1	D	0		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
		A	2	B	5	C	1	D	0		
1	自己点検・評価の実施に関する具体的方策	A	1	B	6	C	2	D	0	II	
		A	0	B	4	C	1	D	0		
		(会津大学) 自己点検評価の実施及び内部牽制体制の強化などについて、概ね計画どおり実施した。									
		A	1	B	2	C	1	D	0		
2	第三者評価の実施に関する具体的方策	A	1	B	3	C	0	D	0	II	(会津大学短期大学部) 中期計画に向けて、受審時と同様の基準に則った自己評価書を試行的に作成して、大学評価・学位授与機構の訪問指導を受けたことについて評価できる。
		A	0	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学) 大学評価・学位授与機構による認証評価に向けた自己評価書の作成について、概ね計画どおり実施した。									
		A	1	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 機関別認証評価の平成22年度受審に向けた体制づくり、作業内容の検討などについて、計画を上回る実績を上げた。									

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
3	評価結果の活用に関する具体的方策	A	1	B	4	C	0	D	0	II	(会津大学) 平成21年6月1日に、ファカルティ・ディベロップメント(FD:教育技術向上)推進委員会を設置し、シラバスや授業評価の改善、FD講演会及び学生FD会議など、FD活動を行ったことについては評価できる。
		A	1	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学) FD活動を推進するための組織設置や教員業績データベースシステムの適切な運用について、概ね計画どおり実施した。									
		A	0	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) FD活動、評価結果の公表及び活用について、概ね計画どおり実施した。									
第5	教育及び研究並びに組織及び運営の状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	A	3	B	5	C	0	D	0	II	
		A	1	B	3	C	0	D	0		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
		A	2	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 計画を上回る実績をあげた。									
1	教育及び研究並びに組織及び運営の状況に係る情報公開・提供、広報に関する具体的方策	A	3	B	5	C	0	D	0	II	(会津大学) 平成21年度のオープンラボ(研究室公開)の研究室数は21(平成20年度は18、平成19年度は16)、入場者は約700名(前年度比50名増)と年々増加していることについて評価できる。 (会津大学短期大学部) サマーオープンキャンパスでは470名(前年度比32名増)、オープンキャンパスin紅翔祭は59名(前年度比54名増)と参加者が増加したことについて評価できる。
		A	1	B	3	C	0	D	0		
		(会津大学) ホームページの充実、オープンキャンパスの開催などについて、概ね計画どおり実施した。									
		A	2	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) ホームページの積極的な更新や報道機関などの活用による広報の充実、オープンキャンパスの内容の充実などについて、計画を上回る実績をあげた。									

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
第6	その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置	A	2	B	14	C	2	D	0	II	
		概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
1	施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための具体的方策	A	1	B	7	C	0	D	0	II	(会津大学) (仮称)会津大学修学支援宿泊施設(学生寮)の整備について、当初の計画を前倒して、平成23年4月からの入居開始に向けて、基本設計及び実施設計を策定し、平成22年3月下旬に着工したことについて評価できる。
		学生寮の基本設計及び実施設計の策定、建設工事着手や省コスト・省エネルギーに繋がる設備運用や機器更新、環境方針の学内周知・推進などについて、概ね計画どおり実施した。 (短大はA:0、B:1、C:0、D:0である)									
2	健康管理・安全管理に関する目標を達成するための措置	A	1	B	7	C	2	D	0	II	(会津大学短期大学部) 教職員の定期健康診断受診率が100%を達成したことについて評価できる。
		セキュリティ体制の維持や学生相談室、保健室の周知・環境整備、災害発生時の体制整備と学内の防災意識の高揚などについて、概ね計画どおり実施した。 (短大はA:1、B:6、C:0、D:0である)									
第1～第6 (計383項目)		A	125	B	220	C	37	D	1	II	

注1:自己評価の考え方

- A・・・年度計画を上回って実施している
- B・・・年度計画を予定どおりに実施している(達成度がおおむね90%以上)
- C・・・年度計画を下回って実施している(達成度がおおむね60%以上90%未満)
- D・・・年度計画を大幅に下回っている、または実施していない(達成度が60%未満)

注2:評価委員会の評価の考え方

- I・・・年度計画を十分に実施できている
- II・・・年度計画をおおむね実施できている
- III・・・年度計画を十分に実施できていない
- IV・・・年度計画を実施できていない